

2026

Summer

Vol.17
TAKE FREE

第11期経営方針発表会について

TANOSHIKA TIMES

Creating a World Without Barriers to Living and Working

生きづらさを感じない世の中を創る。就労継続支援・相談支援のタノシカの広報紙

これからの
10年へ。

10
年分のありがとう、

第11期 経営方針発表会特集

Main Topic

特別インタビュー

..... 発表会を振り返って

株式会社SANCYO 代表 嘉村 裕太

実行委員長
益田さん

Other Topics

- ・社長コラム「嘉村がゆく！」
- ・植物がつくる“いい感じ”
Mojoという空気のデザイン

COO Interview Video

インタビュー
動画はこちら



取締役COO
田代さん

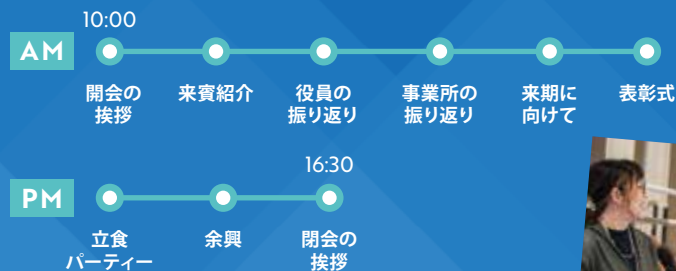
Mojo副所長
川畑さん

経営方針発表会

MANAGEMENT POLICY PRESENTATION

2026年3月21日(土)に第11期経営方針発表会を開催しました。当日は来賓の皆様にもご来場いただき、午前は各事業所や役員による今期の振り返りや来期目標の発表、10周年記念企画「夢の木」プロジェクトを実施しました(詳しくは誌面の右下参照)。午後はゲーム大会で交流を深め、社員1人ひとりが次の1年に向けて気持ちを高める機会となりました。誌面では、発表会の運営を支えた実行委員長や、今後のビジョンについて熱い想いを語った社長のインタビューを掲載します。

TIME SCHEDULE



Next term's
Goals

FARM

Evolution (進化)

CREATIVE 諏訪野町

明日も通いたい事業所を作る

SUPPORT

シン・原点回帰

PLUS

新たな環境、生産活動への
一般就労に向けた支援の

10年の節目、次の10年をどう描くか

経営方針発表会を終えて

今回は過去の経営方針発表会の中でも来賓の方に1番多く来ていただいて、想像を超えるお褒めの言葉をいただいたんですよ。会社の雰囲気とか、社員1人ひとりの発言であったり、発表の仕方であったり、全体での盛り上がりであったり。他にも、色んな役割の人が増えてきたっていうのは、お声をいただきました。

10期目を迎えて

今回は緊張がほぐれるみたいなことはなく、もうやっていくっていうプレッシャーとか不安とか期待とか色んな感情が毎日押し寄せてくる感覚でしたね。今年はどうして、来年はどうして、再来年は、みたいに、今までよりも早めにやっていくっていう感じで、結構ヒリヒリはしてるかなっていう気持ちはあります。

「ASCENT100」とは

福祉インフラってどういう状態を指すかっていうことを、お話いたしますね。インフラって簡単に言うと誰もが使えるサービスってことなんです。誰もが使えるサービス、という思いつくのは、水道、ガス、電気、ですね。今でいうとインターネットもそうですね。それじゃ、みんなに満遍なくサービスを届けている会社って

どのくらいの規模感の会社なのか、ってなった時に、まず最低ラインとして僕が考えるインフラ企業の定義としては1,000億。ただ、1,000億を目指すインフラ企業になるという目標を今掲げてしまうと、ゴールって結構遠いじゃないですか。SANCYOグループとしては10年で10億程の売り上げになったので、次の10年で20億ってなると、それは目指すゴールから逆算した時にあまりにもゆっくりな歩みになってしまうので、それであれば次は10倍の100億円っていうところを目指そうっていうのが「ASCENT100」。それをプロジェクト名にして、宣言して終わりじゃなくて、必要とされるサービスをちゃんと提供し続けて、そういったサービスを当たり前にする。その通過点が「ASCENT100」だと思ってます。

今期を振り返って大変だったこと、思い出深いこと

前期で言うと、どんどん権限移譲してお任せして、それに対して人が成長したっていうのは凄く感じました。あとは、SANCYOが就労支援の会社だと強く思いすぎてしまっていたことに気付きました。SANCYOにはA型が4つ、相談支援が1つ、ショートステイが1つなので、会社の比重的には就労支援が多いじゃないですか。ただ、ショートステイで子どもたちと関わると、障がい

を持つ人の困りごとって「仕事ができない」だけじゃないなってすごく感じたんですよ。SANCYOという1つの会社を就労支援だけの会社にしてしまうのか、それとも就労支援だけでなく本当にビジョンに沿った会社にしていけるのか、という部分では、改めて自分次第だなって思っ。生きづらさ、働きづらさに関する困りごとって、就労支援だけじゃないし、やらないといけないことっていうのは、もっといっぱいあるなっていうのは、ショートステイやってみても思いましたね。

今後のSANCYOの動き、TANOSHIKAの成長についてのビジョン

企業さんが今、障がい者雇用っていうところでどうしていいかわからなくて、お仕事はいっぱいあるんだけど一緒にどうですか、という相談っていうのもあるんです。そうやって一緒にやる機会があれば、全国どこでも一緒にやるっていう準備はしてるっていうところが、まず就労支援としてはあるかなと。就労支援っていうのはA型だけではなくてB型とか移行支援があるので、ここは機会があれば挑戦はしてみたいなとは思ってます。なので、就職に送り出すこと、それができる場所になっていきたいし、その力つてのは付けていきたいんです。



前編

All interview
こちらのQRから
全文ご覧いただけます!



後編

発表会を振り返って

取締役COO田代さんの
インタビュー動画は
こちらから!



president!

株式会社SANCYO 代表取締役

嘉村 裕太



CREATIVE 東町

一人一人の実行力を高め、
一歩先の行動で主体的に動くチームへ！

の挑戦
強化



Special guest 脇田 千里 様

TANOSHIKAに生活支援員として約6年間在籍し、CREATIVE諏訪野町では所長も兼任。その後、東町に異動して1年間勤務したのち、皆に惜しまれつつ勇退。

みんな頑張っていて、本当にTANOSHIKAはこれからも大きくなっていくんだという思いで参加していました。TANOSHIKAを離れて、福祉の周知や浸透が十分ではないと感じます。みんなA型やB型事業所を知りません。嘉村社長がおっしゃっているように、インフラになるようこれからも頑張してほしいです。



受賞者の声 MVV Exemplar's Voice

経営方針発表会では、会社のビジョンやミッションを体現している社員への表彰も行われました。今回は代表してお二人に、受賞への想いをお話いただきました。



CREATIVE諏訪野町 所長
深野 高史



MVV賞 最高のチームで歴史を創る

素敵な賞をいただきまして有難うございます。この賞は僕ひとりの力ではなく、辛い時も前向きに挑戦し続けることが出来るチームのみなさんがいたからこそです。これからもお互いに助け合いながらも成長していきたいので、引き続きよろしくお願いします！



MVV賞 小さな変化が大きな進化

このような賞を頂き、大変うれしく思います。平野サビ管を含め、周りの支援員さんのサポートのおかげです。メンバーの皆様が『ここには、居場所がある』『希望が見える』と思ってもらえるような支援をチーム一丸となって、こつこつと積み重ねていこうと思います。



CREATIVE東町 生活支援員
長谷川 浩久

実行委員長を任されて

事前にアンケートがあるんですけど、まさか私が委員長になるとは思っていなかったの、驚きました。というのも、私がこういう表だったことをするタイプではないんですよ。だから委員長って言われて、賑やかそうなところを取り仕切るなんて、できるのかなっていう不安が正直、ありましたね。

印象的だったこと

実行委員のメンバーは私以外に数名いるんですけど、凄くテキパキとされてて。イベントスタッフみたいな動きをされてたので、あんなふうに皆んな動けるんだっていうのが印象的でした。午後の部も予想以上に盛り上がり、会場も一体感があって楽しそうにしているっていうのが凄く印象的でした。

準備で大変だったこと

企画が決まってから、当日までに間に合うのかなっていう不安は少しありましたね。なので、何をどんな風にいつまで進めれば当日に間に合うかっていうことをずっと頭の中で考えて、見えない忙しさみたいなものが大変でした。

今回の経験について感じたこと

終わったっていうほっとした気持ちがやっぱり1番大きいですね。企画が決まった後、実

行委員じゃない方が手伝ってくれたり、デザインの部分でお世話になったり、主体になって動いてくださる方とかアドバイスをくれる方もいたので、実行委員だけで作ってるわけじゃないんだなっていうことを痛感しました。

夢の木について

10年前に作った夢の木をリメイクして、SANCYOに関わっている方たちに葉っぱ型のメッセージカードを書いていただきました。企画が決まったのがかなり後半の時期だったんです。そこから、デザインをどうするかとか、パネルを作るのかとか、1から全部決めていった形ですね。企画をまとめて、あとはデザインの方をお願いしなきゃいけないので依頼したりして、本当に多くの方々の手を借りました。こういうことは実行委員だけでやるものだと思っていたんです。けれど、決まったことに対して必要な人にきちんとお願いしている。そういう心強い仲間がいるというのが、本当にありがたかったですね。



All interview
こちらのQRから
全文ご覧いただけます！

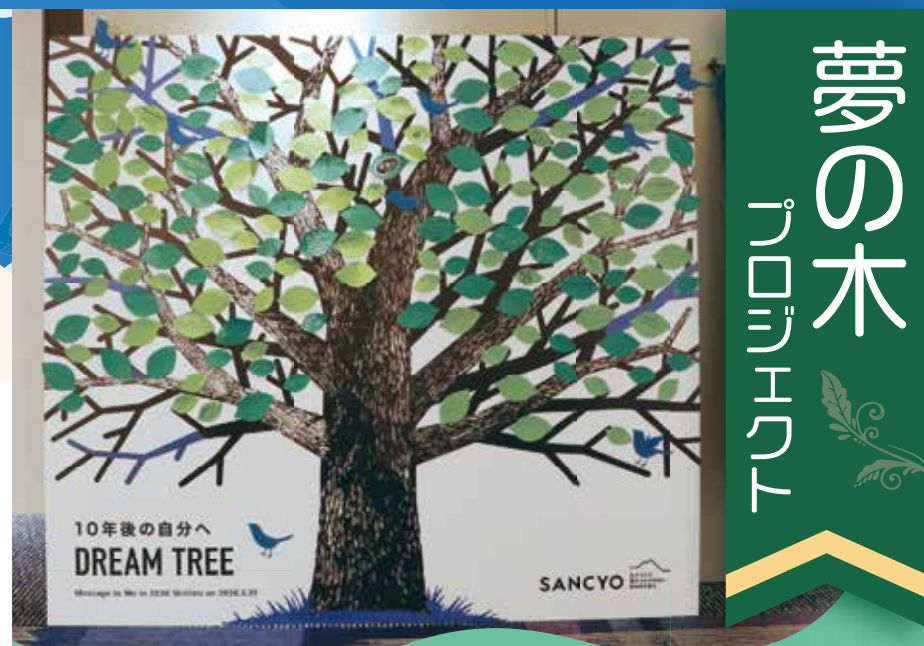


経営方針発表会
実行委員長！

TANOSHIKA SUPPORT
相談支援専門員

益田 未央

SANCYOの温かさを感じることができて、
本当にいい経験だったなって思います。



10年目の記念イベントとして、「夢の木」をつくりました。

「10年後の自分へ」をテーマに、葉っぱのカードへそれぞれの気持ちを綴っています。

職員とメンバー、SANCYOのみんなで形にした夢の木です。

1人ひとりの想いが重なり合い、ぬくもりのある1本の木が完成しました。

今は、68才であります。
10年後は、78才です。
78才で、仕事がんばっています。

T.Mさん



楽しく生きる！

Y.Iさん



料理教室や裁縫の
好きなことは続けてますか？
手話はスキルアップして
活かしてますか？

M.Oさん



そのままの自分で、私らしく
働くことができます♡
幸せは自分でつかむ。

N.Nさん



嘉村がゆく！

no. 09

みなさん、こんにちは！

日頃より連携させていただいている支援機関の皆様には、いつも大変お世話になっております。

今年で創立から十年

SANCYOは、二〇二六年九月一日に創立十年という大きな節目を迎えます。

それに先立ち、先日開催した第十一期経営方針発表会では、「次の十年に向けて」をテーマに、これからのSANCYOの方向性について発表させていただきました。

その内容については、また別の機会にお話しできればと思います。

今回は、SANCYOが年に一度開催する「経営方針発表会」という名のお祭りについて、少しご紹介させていただきます。

SANCYO 経営方針発表会

SANCYOの経営方針発表会では、まず「実行委員会」が発足します。各事業所や各部署から一名ずつ選出され、チームを結成。前年度の実行委員長から、次期リーダーへ推薦という形でバトンが渡され、発表会に向けた準備がスタートします。

会場選定、予算管理、参加人数の調整、外部参加者のご案内、当日の進行設計、発表順や役割分担など、その準備内容は多岐にわたります。

近年はホテルマリタール創世の会場を貸し切り、あえて背伸びをしながら盛大に開催しています。未来に向けた挑戦の場であり、成長のための投資でもあると考えています。

当日は、午前からのスタートします。

開会挨拶、来賓のご挨拶、代表発表、各取締役からの発表、各事業所の発表、中長期計画の共有、MVVフィット表彰、記念撮影などが行われます。



そして午後の部へ。開会セレモニー、余興、食事、懇親会と続き、毎年大いに盛り上がりします。実は午後のプログラムについては、実行委員会以外

には当日まで内容が明かされません。そのため、社員はもうろんで来賓の皆様にとってもサプライズ満載の時間となっています。



そして発表会終了後には、実行委員会の打ち上げが開催され、そこで次年度の実行委員会へバトンが引き継がれます。

SANCYOではバリエーションのひとつとして「楽しさが人を動かす」を大切にしています。

仕事だからこそ真剣に。そして、せっかく取り組むのであれば全力で楽しむ。そんな姿勢を大切にしながら、一つひとつの挑戦に向き合っています。

今後ともSANCYOをよりよくろしくお願い致します。



代表取締役
嘉村 裕太

1990年2月11日生（36歳）水瓶座
趣味：筋トレ・漫画
このたび第5子に授かりました。ますます賑やかな家庭になりますが、家族を大切にしながら仕事にもより一層励んでまいります。

植物がつくる“いい感じ”

Mojo という 空間のデザイン

“Mojo(モジョ)”

新事業がSANCYOで始まりました。
多肉植物や観葉植物の育成と販売を行います。
Mojoのもっている「いい感じ」を、植物と一緒に皆さんにお届けします。

こちらの動画後半でもMojoについてお話しています。





就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA FARM

(たのしか・ふぁーむ)

〒830-0047

福岡県久留米市津福本町
845-5

☎ 0942-38-2655
☎ 0942-80-0180 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA CREATIVE 諏訪野町

(たのしか・くりえいていぶ・すわのまち)

〒830-0037

福岡県久留米市諏訪野町1-22
ワカナセントラルプレイス 5F

☎ 0942-80-6216
☎ 0942-80-6217 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA PLUS

(たのしか・ぶらす)

〒830-0047

福岡県久留米市津福本町
1587-11

☎ 0942-27-5823
☎ 0942-27-5824 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA CREATIVE 東町

(たのしか・くりえいていぶ・ひがしまち)

〒830-0032

福岡県久留米市東町25-3
ブラザービル2F

☎ 0942-65-6842
☎ 0942-65-6843 (FAX)

相談支援事業

TANOSHIKA SUPPORT

(たのしか・さぽーと)

〒830-0018

福岡県久留米市通町 5-18
イデックビル 2F

☎ 0942-27-6063
☎ 0942-27-6167 (FAX)

本部業務

TANOSHIKA HOME

(たのしか・ほーむ)

〒830-0018

福岡県久留米市通町 5-18
イデックビル 2F

☎ 0942-27-6163
☎ 0942-27-6167 (FAX)



ショートステイ事業

TANOSHIKA LODGE

(たのしか・ろっじ)

〒830-0038

福岡県久留米市西町1196-17 2F・3F

☎ 080-6113-9489

C
H
E
C
K

公式サイトやSNSで最新の情報を発信しています!ぜひチェックしてみてください!



WEB



LINE



X (旧Twitter)



Facebook



Instagram

本広報誌(TANOSHIKA TIMES)は
TANOSHIKA CREATIVE利用者が
デザインを担当しております。



TANOSHIKA
CREATIVE
デザイナー
Kさん・Iさん